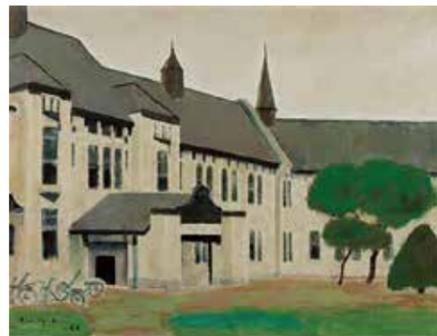


感動一点の場

『工学部校舎』（北海道大学工学部蔵）
1964年 小川原 脩 画

「白聖館（はくあかん）」の名で親しまれた北海道大学旧工学部校舎は、1923（大正12）年に建てられ、白色を基調とするユニークな外観がこの別名のおこりとなりました。作品に描かれたとおり、屋根の重い色彩と壁の柔らかな色合いは、白聖館の学び舎としての落ち着いた佇まいを感じさせます。前庭を広くとり、鶴翼状に配された建物は木造で白い外壁、スレート屋根に尖塔、そのクラシカルな建築美は、大学の内外の人々に親しまれたそうです。1973（昭和48）年に鉄筋コンクリート造の現校舎が完成し、白聖館はその姿を消しました。小川原脩が建築物を描いた作品は少なく、制作のきっかけは1963（昭和38）年から工学部建築工学科で造形演習の非常勤講師を務めた縁があつてのものと思われる。1981（昭和56）年までの18年間、週に一度の学生たちとの交流に新鮮な思いを抱きながら、倶知安と札幌を行き来していました。



文：沼田 絵美（小川原脩記念美術館 学芸員）

—アライグマじゃない タヌキです—

ふるさと探訪

437回

タヌキは漢字で書くと、「けものへん」に「里」で「狸」。漢字の通り古くから人間に近い生き物として、狸寝入り、捕らぬ狸の皮算用などの慣用句や文福茶釜、かちかち山などの昔話にも登場し、日本人になじみが深い動物です。元々は日本など極東地域にしか生息していなかったため、世界的に見れば珍しい動物です。

食肉目イヌ科タヌキ属に分類され、日本には北海道にエゾタヌキ、本州、四国、九州にホンダヌキラクーン ドッグの1種2亜種がいますが、基本的に夜行性なので目撃することは少ないでしょう。英名をRaccoon dog、Raccoon（アライグマ）に似たdog（いぬ）と、アライグマに姿や習性が似ているため、よく見間違えられます。一番見分けやすいのは尻尾で、タヌキの尻尾にはアライグマのようなしま模様はありません。木の実や昆虫、カエル、ヘビ、ザリガニなどを食べる雑食性で、その点もアライグマと似ています。そのため、身体が一回り大きく、性格が凶暴なアライグマに、えさやすみかを奪われ数を減らしつつあります。

倶知安開拓に尽力した、仁木竹吉にきたけよしの故郷徳島には、阿波狸合戦というタヌキたちの大戦争の伝説があり、主人公の金長きんちやうというタヌキが、金長大明神として金長神社しがらきやきにまつられています。倶知安風土館に信楽焼の狸がたくさんあるのもそういう理由があるのかもしれませんがね。

文：森脇 友行（倶知安風土館 学芸補助職員）



展覧会のお知らせ

■開館 20 周年記念特別展「小川原脩の世界」

道内の所蔵作品を集めた特別展。一般に公開されていない作品も含め、小川原脩の新たな魅力をご紹介します。

会 期：開催中～11月10日(日) 会 場：第1展示室

■企画展示

しりべしミュージアムロード共同展「晴れ ときどき曇り、ところにより雪」

会 期：開催中～9月23日(月) 会 場：第2展示室

「小川原脩セレクション 原始の美—1960's」

強い関心を寄せた太古の遺跡遺物をモチーフとしながら、アンフォルメル（不定形の抽象）の影響を受けた力強く躍動感あふれる1960年代初頭の作品をご紹介します。※初日観覧無料

会 期：9月28日(土)～翌年1月13日(月) 会 場：第2展示室

アート・イベントのお知らせ

■ミュージアム・コンサート

しりべしミュージアムロード・コンサート「室内楽の魅力～世界の四季より」

後志にある5つのミュージアムを巡るコンサートの旅。

日 時：9月7日(土)11時～11時40分

会 場：当館ロビー（無料）

出 演：北濱侑樹さん（フルート）/小笠原いづみさん（コントラバス）/中倫子さん（ヴァイオリン）

小川原脩記念美術館友の会「音楽とワインの夕べ『和の調べ』」

毎年恒例のイベント。今年は和楽器による演奏です。

日 時：9月21日(土)17時30分～19時30分 会 場：当館ロビー

出 演：渡辺由美子さん（箏）/村林満詠さん（箏）/白倉柳一さん（尺八）

料 金：一般1,300円 小川原脩記念美術館友の会会員1,000円

☎小川原脩記念美術館友の会 ☎090-3396-6022（高橋）

■アート・シネマ館

「バスキア」2006年/107分/アメリカ（字幕）

27歳の若さで他界したニューヨークの天才画家バスキア。その生涯を豪華キャストにより完全映画化。

日 時：9月14日(土)14時～15時50分 お話し：柴 勤（当館館長） 会 場：当館映像ルーム（無料）

■土曜サロン

世界美術館紀行VI～パリ編②～「オルセー美術館Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」

トークと映像で巡る世界の美術館。いよいよ近代美術の宝庫、オルセー美術館の登場です。

日 時：9月21日(土)14時～15時20分 お話し：柴 勤（当館館長） 会 場：当館映像ルーム（無料）

■ギャラリー・トーク

「小川原脩セレクション 原始の美—1960's」

当日から始まる「小川原脩セレクション」展。作品を見ながら学芸員と楽しいひとときをお過ごしください。

日 時：9月28日(土)14時～14時30分 お話し：沼田絵美（当館学芸員）

会 場：第2展示室（展覧会初日のため無料）



小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一 般 500円（400円）

高 校 生 300円（200円）

小中学生 100円（50円）

倶知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一 般 200円（100円）

高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は9時～17時

入館は16時30分まで

※（ ）内は10名以上の団体料金

9月の休館日 毎週火曜日

25～27日（展示替えのため）

一期一会の特別展

開催中の開館20周年記念特別展「小川原脩の世界」は、当館以外の所蔵作品を中心に構成されています。横浜美術館や板橋区立美術館、あるいは東京国立近代美術館など道外までは手が伸びませんでしたが、それでも道立近代美術館をはじめ、北大や道庁、道議会、そして倶知安小学校から合わせて19点もの作品をお借りすることができました。普段は学部長室や議長室、校長室に飾られている作品、この機会を逃すと再び目にするのは難しいでしょう。残り2カ月。大作が並ぶ展示室を心ゆくまでお楽しみください。

館長 柴 勤